

産業廃棄物 処理計画記載例

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

〇〇年〇〇月〇〇日

鹿児島市長 殿

提出者
住所 鹿児島市山下町11番1号
氏名 鹿児島商事株式会社
代表取締役 桜島一郎
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 099-224-1111(234) 担当: 山下

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	鹿児島商事 東開工場
事業場の所在地	鹿児島市東開町3番地1
計画期間	〇〇年4月1日から〇〇年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類: 製造業 中分類: プラスチック製品製造業 小分類: 工業用プラスチック製品製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額 103億円
③従業員数	55人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添 産業廃棄物処理工程 ・ 産業廃棄物処理に係る管理体制

法人の名称及び法人の代表者又は処理計画書の作成単位である事業場代表者等について正確に記入してください。
※押印は不要です。

事業の種類については日本標準産業分類業種(小分類まで)を記入してください。

◆日本標準産業分類業種ホームページ(総務省統計局産業分類一覧より)

大分類

- A 農業, 林業 B 漁業
- C 鉱業, 採石業, 砂利採取業
- D 建設業 E 製造業
- F 電気・ガス・熱供給・水道業
- G 情報通信業
- H 運輸業, 郵便業
- I 卸売業, 小売業
- J 金融業, 保険業
- K 不動産業, 物品賃貸業
- L 学術研究, 専門・技術サービス業
- M 宿泊業, 飲食サービス業
- N 生活関連サービス業, 娯楽業
- O 教育, 学習支援業
- P 医療, 福祉
- Q 複合サービス事業
- R サービス業(他に分類されないもの)
- S 公務(他に分類されるものを除く)
- T 分類不能の産業

事業所の名称には産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)を実際に排出している事業所名(建設業の場合は支店名等)を記入してください。

建設業で事業場の名称を支店等にした場合は、支店等の所在地を記入してください。

処理計画は、その年の4月1日から翌年の3月31日までの計画を記載してください。

該当する事業場又は支店等の正社員及び常勤関係職員数(医療関係の場合は医療従事者及び非医療従事者数)を記入してください。

廃棄物の発生から最終処分が終了するまでの一連の処理工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む)を記入してください。
(枠内に収まらないときは別紙を添付してください。)

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図)			
別添 産業廃棄物処理工程 ・ 産業廃棄物処理に係る管理体制			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	排出量	別添 内訳表【A】	t
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃プラスチック類：製造工程の見直しを検討し製造量に併せて製造ラインの効率的な運用を図り、廃棄物の排出抑制。 ・ 梱包材の簡素化及び再利用化を実施。 			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	排出量	別添 内訳表【B】	t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記取組みの継続実施。 ・ 製造工程のさらなる見直しを検討し製造量に併せて製造ラインの効率的な運用を図り、廃棄物の排出抑制を行い削減に努める。 ・ 資材管理の徹底による、余剰材の発生抑制。 			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃プラスチック類：H25に選別機を導入し、分別の向上を図った。 ・ 廃棄物の分別について作業員に指導。 		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	木くず：出荷過程で生ずる廃木製パレットは、再度パレットに使用できる部材を選別を行う。		

取組内容については、現在実施している取組みの内容を具体的に記載してください。(以下、分別、自ら処理及び委託処理する事項についても同様)

計画については、当該処理計画書の計画期間で自ら取組み、及び将来的に実施する予定のある場合はその取組み内容について具体的に記載してください。(以下、分別、自ら処理及び委託処理に関する事項についても同様)

産業廃棄物処理体制について、処理計画の総括責任者、処理計画作成部署等がわかる組織図を記入してください。

産業廃棄物の種類ごとに前年度の実績値を記入してください。(記入様式は2種類までしか記載欄がありませんので、それ以上の種類がある場合、別紙(内訳書)に記入してください。
※この用紙には、「別紙内訳書」と記載し、別紙を添付してください。(以下同様)

【注】
前年度に処理計画を提出し、今年度実施状況報告を提出される場合、
排出量の数値は、
実施状況報告の①排出量と同じになります。

産業廃棄物の種類ごとに、当該計画書の計画期間における目標量を記載してください。

【注】

前年度に処理計画を提出し、今年度実施状況報告を提出される場合、

自ら再生利用を行った産業廃棄物の量は、

実施状況報告の②+⑧自ら再生利用を行った量と同じになります。

【注】

前年度に処理計画を提出し、今年度実施状況報告を提出される場合、

自ら熱回収を行った産業廃棄物の量は、

実施状況報告の⑤自ら熱回収を行った量と同じになります。

【注】

前年度に処理計画を提出し、今年度実施状況報告を提出される場合、

自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量は、

実施状況報告の⑦自ら中間処理により減量した廃棄物の量と同じになります。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別添 内訳表【C】	t
	(これまでに実施した取組) 廃プラスチック類：H20に選別機を導入し、自社での廃棄物再利用量の向上を図った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別添 内訳表【D】	t
	(今後実施する予定の取組) 木くず：出荷過程で生ずる廃木製パレットは、再度パレットに使用できる部材を選別し再生利用を行う。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別添 内訳表【E】	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別添 内訳表【F】	t
(これまでに実施した取組) 廃プラスチック類：H20に選別機を導入し、自社での廃棄物再利用量の向上を図った。 木くず：自社の焼却施設については、熱回収を行う装置は設置されていない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別添 内訳表【G】	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別添 内訳表【H】	t
(今後実施する予定の取組) 木くず：自社の焼却施設について、排ガス処理工程に熱交換器を設置することについて検討を行う。			

自社で直接(中間処理を行わず)再生利用した産業廃棄物及び自社で中間処理した後に自社で再生利用した産業廃棄物について記載してください。

自社の焼却施設で熱回収(燃焼できる廃棄物を熱を得ることに利用すること)を行っている場合は、熱回収に利用した廃棄物の量を記入してください。(焼却前の重量を記入してください。)

焼却・脱水等の中間処理によって、廃棄物の重量を減らした場合は、減らした重量を記入してください。(中間処理前の重量から中間処理後の残量を引いた数量を記入してください)

自社で直接(中間処理を行わず・中間処理後)処分した産業廃棄物(埋立処分・海洋投棄)の量を記載してください。

【注】

前年度に処理計画を提出し、今年度実施状況報告を提出される場合、

自ら埋立処分又は海洋処分を行った産業廃棄物の量は、

実施状況報告の③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量と同じ。

優良認定処理業者に委託を行った場合に記載してください。

認定熱回収業者に委託を行った場合に記載してください。

【注】

前年度に処理計画を提出し、今年度実施状況報告を提出される場合、

認定熱回収業者への処理委託量は、実施状況報告の⑪熱回収認定業者への委託処理量と同じ。

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度(〇〇年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別添 内訳表【I】	t
	(これまでに実施した取組) これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別添 内訳表【J】	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
③現状	【前年度(〇〇年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	全処理委託量	別添 内訳表【K】	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別添 内訳表【L】	t
	再生利用業者への処理委託量	別添 内訳表【M】	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別添 内訳表【N】	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別添 内訳表【O】	t
(これまでに実施した取組) 廃プラスチック類：固形燃料化が可能な施設に委託を行っている。 木くず：木くずについては、焼却施設で中間処理(減量)し焼却灰となるため、その後の処理は最終処分となる。			

【注】

前年度に処理計画を提出し、今年度実施状況報告を提出される場合、

優良認定処理業者への処理委託量は、

実施状況報告の⑩全処理委託量と同じ。

再生利用業者へ処理を委託した量について記入してください。

【注】

前年度に処理計画を提出し、今年度実施状況報告を提出される場合、

再生利用業者への処理委託量は、

実施状況報告の⑫再生処理業者への委託量と同じ。

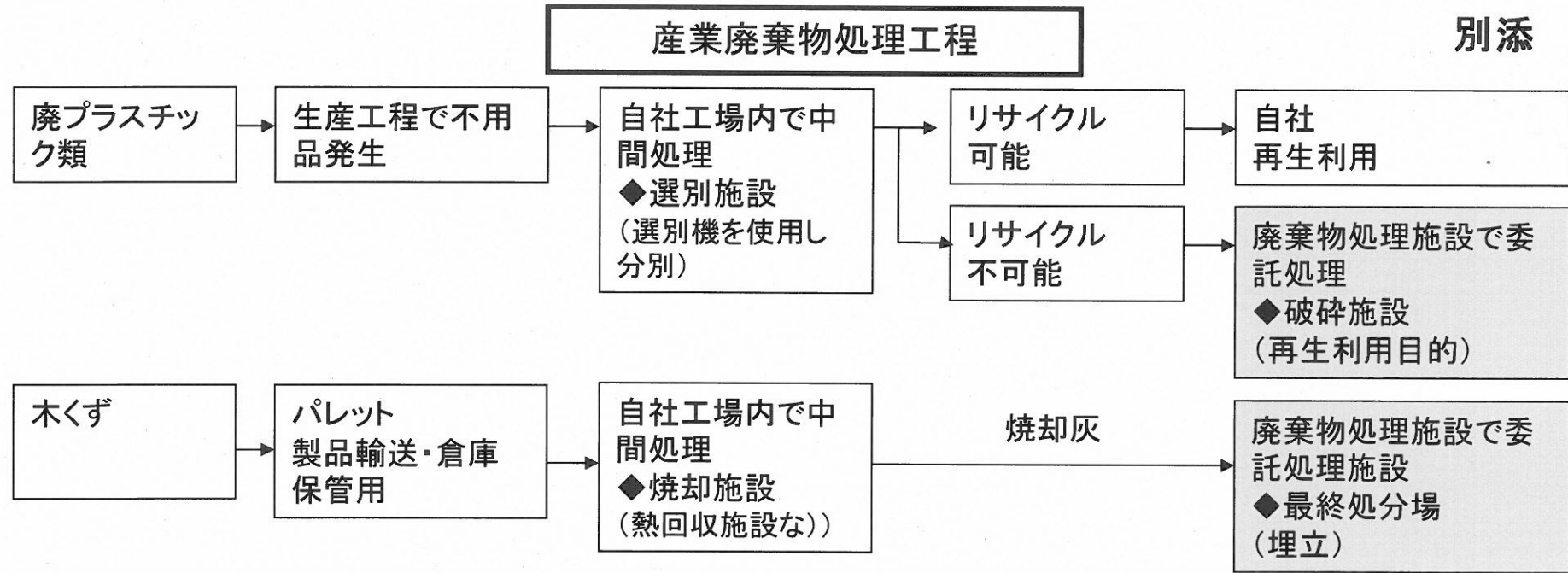
認定熱回収業者以外の熱回収を行っている業者に委託を行った場合に記載してください。

【注】

前年度に処理計画を提出し、今年度実施状況報告を提出される場合、

認定熱回収業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量は、実施状況報告の⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への委託処理量と同じ。

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	全処理委託量	別添 内訳表【P】	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別添 内訳表【Q】	t
	再生利用業者への 処理委託量	別添 内訳表【R】	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別添 内訳表【S】	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別添 内訳表【T】	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>今後、優良認定処理業者、認定熱回収業者の登録が確認できた場合は、登録業者への処理委託を検討する。</p>		
※事務処理欄			



委託処分については、優良認定業者を検討しているが、まだ認定業者が少ないため、本年度の計画としては全て優良認定業者以外である。

産業廃棄物の処理に係る管理体制

